

共生社会ホストタウンについて

共生社会ホストタウンは、パラリンピアンを受入れを契機に、各地における共生社会の実現に向けた取組を加速し、2020年以降につなげていくもの（2017年11月創設）

- パラリンピアンとの交流
東京2020大会直後の交流も含め、幅広い形でのパラリンピアンとの交流を通じ、パラリンピックに向けた機運を醸成するとともに、住民がパラアスリートたちと直に接することで、住民の意識を変えていく。
- 共生社会の実現に向けた取組
障害のある海外の選手たちの受入れを契機に、ユニバーサルデザインの街づくり及び心のバリアフリーに向けた、自治体ならではの特色ある総合的な取組を実施。大会のレガシーにもつなげていく。



台湾パラ陸上選手と小学生との交流（高松市）



カナダ車いすラグビーチームと小学生との交流（三沢市）

【先導的共生社会ホストタウン】（2019年5月創設）

共生社会ホストタウンのうち、ユニバーサルデザインの街づくり及び心のバリアフリーの取組が特に先導的・先進的と認められる自治体を内閣官房が認定し、関係省庁・関係団体の取組みを活用して重点的に支援

